

ハッ場ダムと関連整備の見学会

今しか見られないダム工事

2019/03/22

川崎の産業観光を支援する会 根岸雅明



2019.3.24

川崎の産業観光を支援する会 八ッ場ダム見学会の記録

【概要】1泊2日で群馬県の吾妻渓谷の川原湯温泉に宿泊して支援する会員たちやミニツアーに参加されたことのある市民のみなさんと八ッ場ダムを見学しました。

巨大なダム本体の建設現場やダムの建設に伴い湖水に沈む川原湯地区の温泉旅館や住居地の移転先、道路、学校、橋梁、道の駅の観光施設、神社やお墓、旧吾妻線の線路などの関連施設や風景などを見学しました。

宿泊先の丸木屋旅館では温泉につかり、美味しい食事の後で、仲間たちの部屋に集まり夜おそくまで酒を酌み交わしながらの歓談やなんとフルートやハーモニカの演奏などもあり大いに盛り上がり懇親も深めることができました。

今回は希望者を募り有志による見学会ということで企画実施しました。旅館も貸切で我々だけでしたので気兼ねなく食事もゆっくりととることができました。

近くではこのような大規模なダム工事を観る機会は、今後もうないか思います。とても貴重な体験の見学会だったと思います。以下はその記録です。

【日付】平成31年3月22日～23日 1泊2日

【目的の地】八ッ場ダム 標高はおおよそ600m
群馬県吾妻郡長野原町地内

【メンバー】19人（男性17人、女性2人）

【アクセス】 往路 横浜 7:54→川崎駅 8:03→10:12 高崎 10:44→11:58 川原湯温泉駅
復路 川原湯温泉 13:26→新前橋→高崎 14:52→17:05 川崎→17:12 横浜

【見学概要】1日目 13:30～15:30 八ッ場ダム本体工事に伴いダム湖に沈む関連整備事業についての説明と見学を行いました。

現地の道の駅八ッ場ふるさと館の説明会場で説明を受けた後、バスで関連施設巡る。道路、橋梁、学校、観光施設、庭付き別荘、などダムの下流地域から上流地域の長野原駅まで右岸、左岸を巡る。

2日目 11:00～11:40 ダム本体工事見学。

川原湯湖水公園に集合して、ヘルメットを着用してダム本体の工事現場近くまで行き、工事の説明を受けました。

昼食は丸木屋旅館の裏側にある食事処やまきぼうしでそれぞれ焼肉定食とビーフシュチュウをいただき、食事後解散としました。

【費用】交通費 横浜～川原湯温泉駅往復グリーン券込@5,900

宿泊代（税、ビール、酒含む）@13,400

雑費用 だるま弁当 1,080 + コーヒー等 279 + みやげ 1,100 + 昼 1,080 = 3,539

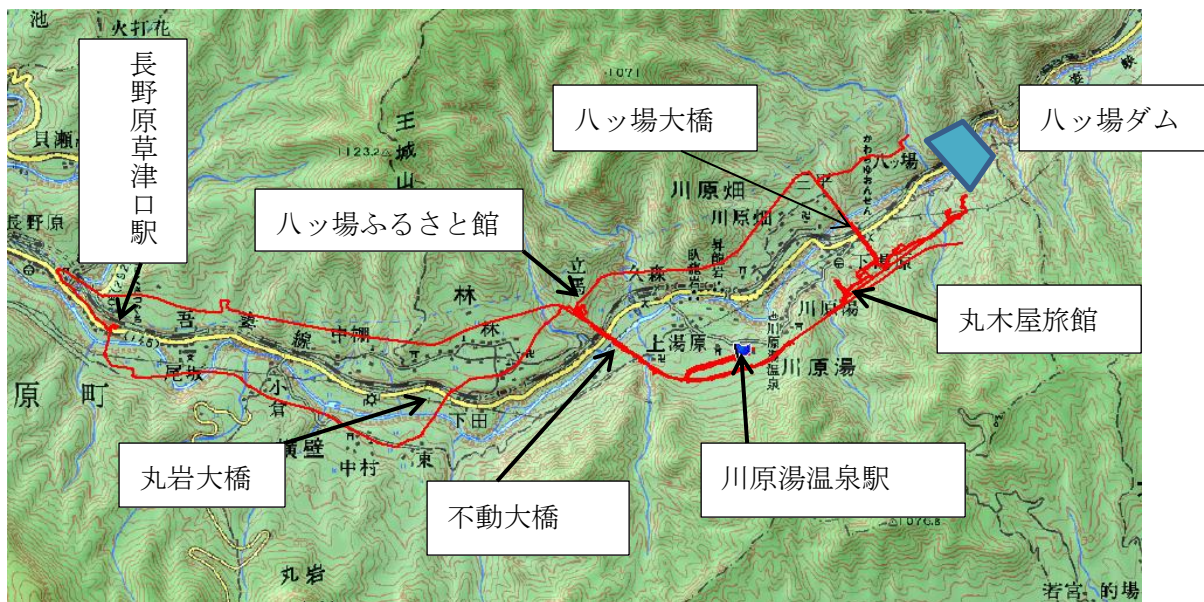
合計 22,839 円

【その他情報】 丸木屋旅館 群馬県吾妻郡長野原町川原湯 490-12

TEL 0279-83-2121

やまきぼうし (昼食) TEL0279-83-2011

【地図】 5万分の1地形図 草津



赤いルートがバスで走った新しくできた国道や県道と歩いたルート。GPS ガーミンより。黄色い線は旧国道 145 号線で湖水に沈む道路。その上にあるほぼ旧国道と併行に走っている線路の印が旧吾妻線。これも湖水に沈む。



【感想】川原湯温泉駅で12時集合として高崎駅からの予定の電車に乗り、現地の説明会場に皆さんと向かうことができました。

吾妻線では車窓から赤城山や榛名山、田園風景を眺め、梅の木も満開でした。ローカル線の旅の風情をたっぷり味わいました。

川原湯温泉駅から八ッ場ふるさと館の説明会場までは徒歩15分程でしたが、おしゃべりしながら不動の滝、不動大橋、雪を頂いた草津白根方面の峰々、おおきなハーンバークのような形の山（丸岩）などを眺めながらとても楽しいものでした。首都圏ではとても暖かい日でしたが、この地では草津方面から流れてくる風はとても冷たくふるえてしまいました。

説明会場の道の駅八ッ場ふるさと館で説明時間まで各自昼食をとりました。名物のダムカレーを食べている人もいました。私は高崎駅でだるま弁当を購入してベンチでいただきました。

道の駅では一抱えもあるブロッコリーをみて皆さんびっくり。180円でした。買いたいけれど大きすぎて持ち帰れない。

13時半から群馬県の方（中沢さん、奥義さん）から最初に川原湯温泉宿泊事業についての説明がありました。ダム計画から紆余曲折を経てようやくダムが完成まじかになってきましたが、このあいだ建設計画の中止や工事の遅延、移転地の遅れ等等と高齢化の問題、宿泊者数の激減のなかでおもうような設備投資ができなかったと説明されました。

昔の川原湯温泉旅館は20件ほどあったが、今移転先で営業を始めたのは5件で、1件の建設中とのことでした。こういったことをかんがみて、緊急生活支援策として宿泊助成事業を行って宿泊数の増加をはかっているとの説明がありました。私たちも見学会をセットで宿泊することで一人当たり3,000円の助成を受けることになっています。アンケートにもご協力してくださいと言っていました。今後の観光への参考にしたいのだと思いました。現地の必死さを感じました。

その後、映像を交えながら工事の概要、ダム建設の歴史ではダムの計画になった発端は昭和22年9月のカスリン台風で利根川が決壊して関東地方に大規模な災害をもたらしたことなどの説明がありました。工事着手するまでの歴史経過を述べられ、来年の3月には八ッ場ダムが完成するそうです。

この地区では移転先として現地再建方式を採用されたそうです。ふつうはダムを建設するときは他の地域に移転するケースが多いようです。身近な例では宮ヶ瀬ダムなどは移転方式ですね。山が迫っていて吾妻川の両サイドを切り開いて道路や移転先の土地、学校、橋梁、鉄道、道の駅などの観光施設などを造られたと説明されていました。お辞儀をすると山に頭がぶつかるという表現をされていました。それ程山が急峻だいという証ですね。

関連施設の進行状況を説明されましたが、ほぼ100%完成されているようです。

説明が終わり、バスに乗車してこの関連施設を上流側の長野原駅からダム本体の下流地域まで巡りました。

上流側の長野原駅では草津・六合ステーションを作り観光の拠点地とした施設。説明会場の道の駅のハッ場ふるさと館、中間地点では庭付き別荘。これは月 40,000 円で年 48 万円で 5 年契約で借りられるそうです。10 棟満杯だそうです。広島方面からの人もいます。

学校施設はとても立派でした。30 人弱の生徒数で今年は新一年生がいないそうです。過疎化が進んでいて若い人がいないということなのでしょうね。過疎化は全国共通の問題で、厳しい日本の将来を見たという感じでした。

下流側にも道の駅あがつま峡があり日帰り温泉施設やドッグランの施設もあります。関連施設はどこもとてもよく整備されていました。

1 日目の見学会が終了し、宿泊先に向かう。宿泊先から翌日の会場の下見に向かい、会場の確認をして、見学会終了後のランチをバスでガイドをしていただいた県の奥義さんに紹介していただいたお店に行く。お店を尋ねたところテーブルが少なく 19 人分の対応はできないと断られてしまった。

さあ、どうするか。ちょうど玉湯でスケッチのため散策していた西山さんに会い、相談してやっと丸木屋旅館の裏にある食事処やまきぼうしにたどりつきほっとしました。とても美味しいランチでした。皆さんからは結果オーライと言われましたが、結果は偶然ではなくいろいろと調査をしていたからなのですよと言いたいですね。苦勞が報われました。

やまきぼうしさんでは川原湯温泉駅まで車でおくってもいただきました。こういったハプニングも旅の楽しさ面白さですかね。地元のおもてなしも感じられました。

西山さんの情報でこの食事処のやまきぼうしさんの道路の向かいにあるショップがなんと私たちが泊まった丸木屋旅館の主人のお母様（90 歳）が営んでいるとことでした。みなさんここで土産を買う方もいらっしゃいました。

2 日目。11 時から展望台とダムサイトでダムの説明を国土交通省の方より受けました。吾妻溪谷がすっぽりとダムに沈むのを避けて上流側にダムの位置を変更して吾妻溪谷が三分の二ほど残されたと言っていました。この計画変更も地質調査などで大変な苦勞されたのでしょうか。

このハッ場ダムは重力式コンクリートダムで簡単に言うとダムの重さで水の圧力を支える構造。ちなみに黒部ダムは皆さんも観光でいかれたかと思いますがアーチ式ダムで上流側にお椀を半分に割ったような弓型の形をしています。この黒部ダムとの比較をしてみましたら総貯水量が黒部は 2 億トン。ハッ場ダムは約 1 億トン。黒部が高さは 186m でハッ場が 116m、堤頂長さが黒部 492m、ハッ場 290m で構造的には黒部はざっくりでおおよその目安ですが、ハッ場の 1.6 倍程度になるかと思います。細かいダムの数値などは現地でもいただいたダムカードや資料やネットなどで調べていただけ

ればと思います。

見学会では川原湯湖畔公園での受付前に車でのお客さんが多くいらっしゃいました。受付と同時に40人の定員に達しました。引き続きこの日は午後の見学会も予定されていました。群馬の前橋方面からたびたびこの見学会に参加されているという方もいらっしゃいました。この人気に驚きました。ダムカードをいただけるのも魅力の一つですかね。このダムカードは随時更新されて新しいカードになっているようです。私たちも2枚のダムカードをいただきました。

また山梨方面からのバスの観光ツアーもありました。八ッ場ダム見学と榛名神社の旅とバスに書いてありました。バス一台分のお客さんでしたので40人ほどでしょうか。

説明会の会場近くでは公園整備が進められていますが、トイレなどはまだ整備されていませんでした。お店や食事処もなくまだまだ開発途上といったところでした。また墓地公園もありました。湖に沈む墓地もこの場所に移転したのだなと思いました。

見学会終了後、予約しておいたやまきぼうしで皆さんとランチをいただき解散しました。

熱い温泉に入り、夜はダムの工事現場の灯りを見たり、星を見たり、美味しい食事の後の皆さんとお酒を飲みながら歓談し、フルーツ演奏やハーモニカの演奏も飛び出し、大いに盛り上がり楽しいひと時を過ごせました。とても充実した見学会でした。また機会を作って湖水が誕生したら訪れて見たいと思いました。

ご参加ありがとうございました。

【写真】



川原湯温泉駅に12時集合。開会式の後、みなさんと会場の道の駅八ッ場ふるさと館に向かう。



不動の滝の前の不動尊にて。



不動の滝、水量が少なかった。



不動大橋から見た丸岩（ハンバーグ山）



不動大橋を渡ると右手に道の駅
八ッ場ふるさと館



ハッ場ふるさと館に向かう



不動大橋から上流を望む。はるか向こうに雪をかぶった草津白根の峰々が望まれました。右手ののり面の整備周辺は公園になるようです。



不動大橋から真下を見下ろしたところ。旧吾妻線の鉄橋と線路跡が見えました。

左手の大きな道は国道か。この辺りはすべて湖底に沈む。



道の駅八ッ場ふるさと館の2Fで関連施設の概要説明を映像を交えてお聞きする。



説明会后バスにて移動しながらダム関連施設の見学をバス車内で見学する。





吾妻線長野駅前広場。ここから草津や焼石温泉、六合村への観光拠点となる。



長野駅前から下流側を眺めためがね橋。



長野原役場



Y字形の橋脚の丸岩大橋

草津白根の峰々



不動大橋で車窓から上流側の草津白根方面を望む。



不動大橋でバスの車窓から下流側の八ッ場大橋とダム方面を望む。
下に見える風景はすべて湖水に沈む。



八ッ場大橋





ハッ場大橋から見たダム



バスでの見学会終了。



見学会終了後、宿泊施設に向く途中の不動大橋にて。



不動大橋から下流側を望む。この景色が湖に沈んですべて見えなくなる。



見学会終了後、道の駅で夜の宴会用の酒を買い丸木屋旅館に向かう。



夕食は18時より。温泉にはいり皆さんおいにくつろぎました。

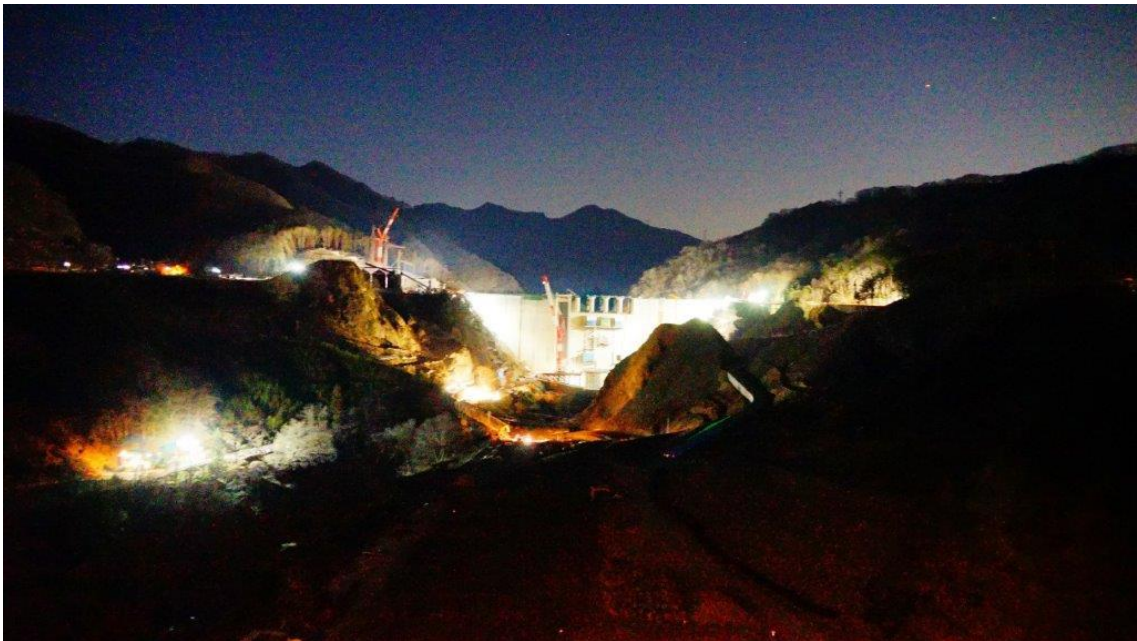




ヤマメの塩焼き、イワナの刺身、お肉、天麩羅、地元のそら豆、花豆など食べきれないほどのご馳走でした。デザートは苺もとても美味でした。この苺も地元産だそうです。



食事後、ダム夜景を見学に行きました。工事の最盛期はクレーンの灯りが沢山あったようですが、工事が終了間際になり灯りも少なくなってきたようです。でも幻想的でした。星がよく見えてこちらも素敵でした。







地酒を飲みながら歓談です。高木さんのフルート、大矢さんのハーモニカの演奏もあり大いに盛り上がりました。ちょっぴりと誰かのリコーダーの演奏もありました。素敵な夜でした。



2日目の朝食。お赤飯がとても美味しかったです。朝からしっかりと食事をとりました。まんぷくでした。



川原湯湖水公園で受付。先着順 40 名です。受付開始後すぐに定員になりました。受付前から車の多くの人が待機していました。驚きの人気でした。



川原湯湖水公園の駐車場。受付 1 時間前から多くの車が駐車していた。





川原湯展望スペースより集合写真

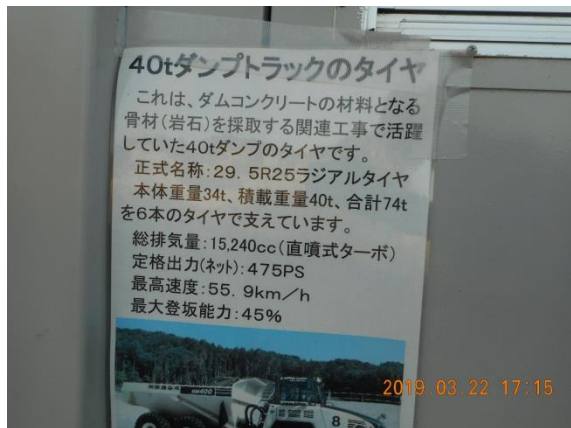
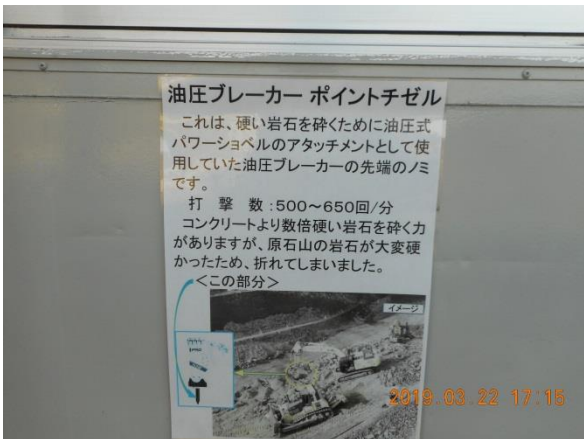


ダムサイト上流右岸側見学風景





右岸側の工事進入路の様子。



岩石を砕くためのノミ



40トンダンプのタイヤ



見学会終了後、やまきぼうしでランチ後解散。



ビーフシュチュウーをいただきました。



丸木屋旅館のお母様 90 歳がお店をやっていました。皆さんお土産を買ったようです。



川原湯温泉駅発 13 時 26 分発で帰宅。
参加された皆様。お疲れ様でしたそして楽しい見学会ありがとうございました。

西山さんが描かれたスケッチです。



丸木屋旅館



川原湯温泉駅



王湯



八ッ場大橋